



神奈川県環境学習リーダー会 会 報

No. 45

2005年
6月 7日

役員会報告 (事務局長 大森 勝)

6月役員会 (6月13日)

1. 確認事項

5月末会員数 正会員 161名、賛助会員 7名、特別会員 2名 合計 170名。

2. 付議事項

地域懇談会を2ヶ月ごとに開催する。

(主旨は、本号掲載記事を参照願います)

持回り役員会を7月(鎌倉)から隔月で地域懇談会開催地で実施する。

第2回地域交流会を10月1日(土)藤沢で開催。NPO 法人制度について将来のニーズも踏まえ役員会で勉強していく。

「エコタウンかながわ2005」が県・藤沢市共催のもと辻堂で実施されるので、参加の前提で準備する。

「平成17年度環境実践者養成講座」講師を清水幸夫氏、近藤作司氏に本会よりお願いする。アジェンダ 21 かながわへのリーダー会会員の取り組みにつき業務役割等を柳川氏が広報に投稿する。

3. 報告事項

自然環境部会・部会長に近藤作司氏が決定。

カーフリーデー第2回実行委員会に大森事務局長が出席する。

各部会は、3ヶ月ごとに〆で会計報告をするよう会計より要望が出された。

7月役員会 (7月13日)

1. 付議事項

役員会開催日は第2月曜であるが、出席できない役員を考慮して8月は9日(火)とした。

18年度「親子で楽しむ環境展」日程を平成18年6月17日(土) 開催と決定。

「エコタウンかながわ」(10月15、16日に県と藤沢市の共催で県立辻堂海浜公園にて開催)に狩野役員を世話役とし、K・リーダー会として広く出展を募る。

「かまくら環境フェスタ2005」(8月27日鎌倉青年会議所主催、御成小学校で開催)にグリーン部会、ケナフ部会、大気環境部会が参加。エネルギー(部)会は、何らかの形で参加。他部会の参加も可能。

4~6月の会計報告は対応の遅い部会があり集計できず。

2. 報告事項

子供体験教室応募状況(現時点計227人から応募)及びソーラークッカー、節電コンセントは応募が多いため2回の開催となる旨の報告。

ちがさき環境フェア2005(7月2、3日)は当会として初めての参加だが、茅ヶ崎在住の会員の協力で盛大に終了した。

神奈川県環境科学センター(KERC)訪問

K・リーダー会事務局長 大森 勝

5月23日13時から、新年度役員挨拶を兼ね神奈川県環境科学センター(KERC)所長他幹部、担当者を訪問し約1時間ほど懇談した。

センター側出席者は、武所長、塩沢部長、野崎さん、当会からは、安丸、柳川、吉田、狩野、立石、沼田、香川、大森が出席した。

まずKERCに対し先日のK・リーダー会総会での協力、所長のご挨拶へのお礼を行い、引き続き新役員を紹介を行った。その後忌憚のない意見交換を行った。

その中には、12年間も続いている他県からも注目されている環境実践者養成講座、環境学習リーダー



養成講座の意義、リーダー会の今後の方向性及び存在価値、行政と市民の協力、大学等との連携や、情報公開のスタート時代、昔の公害問題等、話題は多岐にわたった。

終了後、KERC 玄関前で武所長を含め参加者全員で記念写真を撮った。

の現状と保護活動のあり方・進め方、更に行政と連携した活動の進め方とその重要性等について活発に話し合われました。

地域懇談会の開催

～ 役員会を鎌倉で開催！～

地域活動サポート部 香川 興勝

当会では本年 7 月から“地域懇談会”を開催しています。この会は開催地域の会員に出席していただき、活動内容の紹介や本会発展のための積極的な意見や要望を話し合うとともに、会員相互の親睦を深め今後の活動に有効に生かしていくことを目的としています。この会は隔月に実施することとしています。それに伴って従来横浜駅西口の県民センターで行っていた役員会を、地域懇談会の開催場所で行い、K・リーダー会役員も懇談会に出席して会員間の相互理解を深めていくことにしています。もちろん開催地域外からの会員の出席も期待しています。

本会がこれから心がけていくべき活動内容や活動方法等、数多くの提言があり有意義な会合でした。また、会議後の懇親会にも多数の出席者があり会員間の情報交換等楽しい会となりました。

次回(9月12日)は、小田原で開催し、その後県下各地で順次開催していく予定です。会員皆様の出席をよろしくお願いいたします。

その第1回地域懇談会を先日7月11日(月)に鎌倉市のNPOセンター鎌倉で行いました。地元鎌倉市から4名の会員の出席があり、丹沢山系の自然保護活動や公共施設における自販機の削減、アイドリングストップ活動、産業廃棄物対策や大気環境保全活動等多岐にわたる活動内容の紹介や、子供に対する環境教育の大切さとその取り組み方、丹沢山系を中心とする自然破壊



地域懇談会へ参加の地域の皆さん

～地球の未来のために～

第4回親子で楽しむ環境展報告

実行委員長 北村 博子

第4回親子で楽しむ環境展は、去る6月4日、平成17年度「かながわアジェンダ推進センター普及啓発事業」として、かながわ県民センター1階展示場で開催・実施されました。

を頂き、環境展をよりある和やかなものにする事が出来ました。

只、例年のことながら、K・リーダー会会員の来場者が10人を超えることはなかったのが、この会会員の帰属の低いことを改めて垣間見る思いで、返す返すも残念なことです。

しかし、この環境展の展示内容を高く評価された県環境計画課アジェンダ推進班班長船本氏からは、県内各地でのイベント等で展示したいとお申し出を戴きました。

今年の環境展は、昨年度より一層充実した展示内容と統一された展示方法とで、横浜市を始め、神奈川県各地から来場いただいた方々から、賞賛と励ましの感想が多数寄せられました。朝早くから分刻みの時間との闘いで、夫々の企画通りに展示作業を進められた、各グループ担当の方々に改めて感謝をしております。

無関心会員層の関心・興味を喚起するきっかけづくりに環境展が役立つことになると、今後の【普及啓発事業】環境展の内容の一層の充実を期待しています。

今年度も、かながわアジェンダ推進事業として実施されたため、神奈川県環境計画課からアジェンダ推進班船本氏、かながわアジェンダ推進センター楠木代表等の皆様の展示作業にご協力を戴くことができたのを始め、県環境科学センター武所長、塩沢部長のご来場

来場者の感想

<10歳以下：記入4名>

- ・いろいろなものがあってよかったです
- ・地球のことが良くわかった。
- ・いろいろな電気のしくみをした。

<10代：記入7名>

- ・でんきゅうのがすごかった。
- ・クイズをやってストラップがもらえてうれしかったです。
- ・いろいろなじっけんがあっっておもしろかった。

<20代：記入1名>

- ・学生の自分の卒論を思い出しました。

<30代：記入10名>

- ・ごみの分別はあいまいな知識でやっているので参考になりました。
- ・日ごろの生活習慣を見直す良い機会になりました。
- ・もうちょっと整理をして纏めてあったほうが分かりやすいのでは。

<40代：記入9名>

- ・各コーナーそれぞれ工夫されて分かりやすく展示していることに感心しました。クイズも良く出来ていました。しぜんにかんきょうにはいりよすることを知ることが出来ました。
- ・大変興味深く勉強になりました。是非実践したいと思います。多少はやっているつもりでしたが、まだまだなようです。子どもの未来のためにももう少し頑張ろうと思います。

<50代：6名>

- ・一人1日あたりのエネルギー使用量を重さであらわしたことはとても分かりやすい企画でした。
- ・皆さん工夫をこらして活発的に発表されていて感心しました。

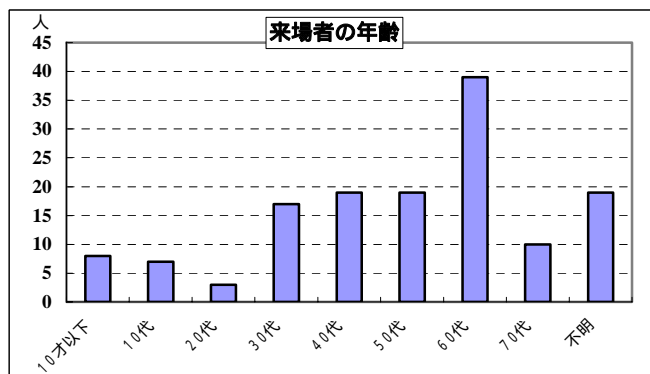
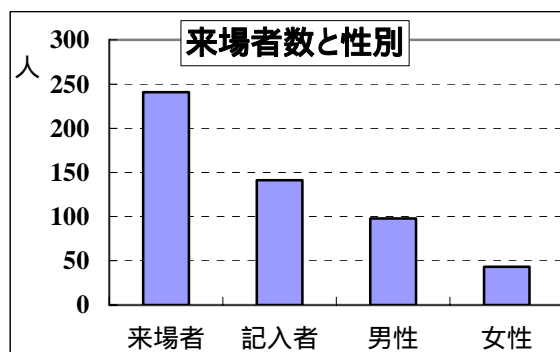
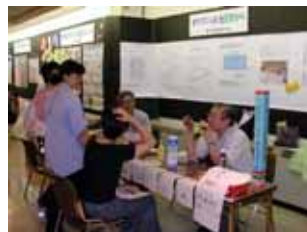
<60代：記入19名>

- ・小学5-6年生にも理解できるよう展示は配慮して欲しかった。
- ・まだまだ学習したいことが多いことを実感した。

<70代以上：記入2名>

- ・熱心に説明される姿が好印象でした。
- ・統計資料など良く出来ており、各場所での説明が良

かった。



環境イベント目白押し

代表 安丸 元一

京都議定書の発効年に相応しく、環境科学センター主催の「子ども環境体験教室」は応募者多数で教室の増設でも足りない盛況振りですし、各種環境イベントも目白押しです。ご多忙でしょうが皆様の積極的な参加と協力をお願いする次第です。ここに現在進行中のイベントを紹介します。

1. 「かまくら環境フェスタ 2005」

6月の「親子で楽しむ環境展」を鎌倉青年会議所の方がご覧になり、鎌倉市で開催する環境イベントには是非K・リーダー会が出展し、“古都鎌倉市が目指す「環境先進都市」づくりに協力を！”との要請にお応えし以

下の通り参画する予定です。そして会場は小学校の体育館の半分を提供頂きます。多くの会員の応援を期待しております。

記

主催 鎌倉市青年会議所
後援 鎌倉市
日時 平成17年8月27日(土) 11:00~17:00
場所 鎌倉市立御成小学校 多目的ホール、体育館
住所 鎌倉市御成町19-1

参加者 鎌倉市民 2,000人を予定
目的 本事業を通じて多くの鎌倉市民に環境問題への関心を持っていただくとともに問題解決への取り組みをスタートしていただき、その結果として将来鎌倉のまちが環境先進都市へと進化し、住み良い待ちへと進化していくため

【K・リーダー会の取り組み】

鎌倉市在住で大気環境部会長の猪股満智子さんに世話役をお願いしました。鎌倉市の事情、K・リーダー会各部会の都合もあり、残念ながら6月環境展に出展した全部会グループの参加には到りませんが、以下の通りです。

大気環境部会：親子に大気環境の大切さと環境測定を実体験する

グリーン部会：子供達にグリーン購入・生活を紙芝居でやさしく教える

水環境部会：水性生物の大切さを知り、顕微鏡での観察体験をする

GO3 廃棄物部会：パズルで環境にやさしい生活をチェックする

ライフスタイルチェック：即座に貴方の生活を環境面からチェックする

2. 「エコタウンかながわ2005」

県下の各地域を回り、県とその地域が主催し年1回開催する環境イベントで今年は第7回だそうです。県環境農政部環境計画課からお誘いを頂きK・リーダー会として参加することになりました。役員皆さんの賛同を得、K・リーダー会を一つに纏めた出展を推進したいと言うご提案の狩野役員に担当をお願いしました。

7月22日現地で開催された説明会に参加し、早速参加申請を行ったところです。

その内容は以下の通りです。

記

主催 神奈川県(環境農政部環境計画課)、藤沢市(環境部環境管理課)

後援 経済産業省関東経済産業局、県・藤沢市教育委員会、新・省エネルギー団体、神奈川県公園協会、NHK他テレビ放送、神奈川新聞等

開催日 平成17年10月15日(土) 11:00~16:00
16日(日) 10:00~15:00

開催場所 県立辻堂海浜公園(JR東海道本線辻堂駅よりバスで約10分)

参加対象 親子を中心とした一般県民
入場見込み 10,000人

開催主旨 新エネルギー、暮らしの中での省資源・省

エネルギー、環境保全への取り組みやリサイクル・都市緑化などの必要性を県民に理解してもらおうとともにマイアジェンダの普及を促進するため・市民団体や企業と協調して本普及啓発イベントを開催する。

今後の日程 7月29日 出展申込締切
8月上旬 出展者決定
8月中旬 会場レイアウト決定
10月上旬 最終打ち合わせ説明会

【K・リーダー会の取り組み】

神奈川県環境大イベントに、K・リーダー会として参加できますことは、先輩各位の現在までの弛まなご努力の結果と感謝しています。8月9日役員会には狩野担当役員から出展趣旨、方法を提案頂きますが、170名会員が一致団結し出展し、そして将来ともK・リーダー会の小間が出来ますよう願っています。皆さんのご指導ご協力をお願いする次第です。

3. 横浜「みなとみらい」環境イベント

23カ国が参加する国際会議「第15回地球温暖化アジア太平洋地域セミナー」が9月11日~15日に「みなとみらい」で開催されますが、この一環として環境イベントが開催されます。

記

主催 環境省、神奈川県、横浜市

開催日 平成17年9月10日、11日

場所 みなとみらい

対象 親子を中心にした県民

目的 温暖化防止を県民に呼びかけアジェンダ21かながわの推進

【K・リーダー会の取り組み】

直ちに積極的に参加を県に表明し、鎌田役員を担当をお願いしました。

7月29日に環境計画課から詳細の説明を聞き、対応したいと考えています。

スペースの関係で多くを展示できないかもしれませんが、これもK・リーダー会として県民に感動を与える出展をしたいと考えていますので、時間も無いですがご協力をお願いします。

部会活動

エネルギー部会

部会長 安藤 紘史

活動報告(6月~7月)

6月度定例部会:6月18日(日)13:00~15:00

参加者:井上、児玉、中島、岩沢、小田、大森、

吉田、北村、藤木、萩原、福田、安藤、
リーダー会役員会の報告:大森

環境展について反省

概ね好評。ただし、朝の準備時間が不足。

情報交換

・「国立環境研究所公開セミナー」の報告

温暖化と必要な施策

温度上昇を2に抑える必要。その為には
50年までに世界の温暖化効果ガス半減、日

本は80%減が必要。
必要とする風力発電の規模
・「安藤家の環境家計簿」について

7月度定例部会：7月10日(日)13:00~15:00
参加者：北村、藤木、下条、大森、小田、安藤、吉田、児玉、中島
リーダー会役員会の報告 吉田
「夏休み親子体験教室」の参加者の再確認
情報交換
教育放送人間講座「共生の時代がはじまる」の第3回 浪費なき成長 の録画と放送大学「環境社会学」の第13回 自然エネルギーと地域振興の資料から、日本の自然エネルギーの普及の遅れ

と加速のためには何が不足しているかについてディスカッションした。

活動予定(8月~10月)
1. 定例部会(開催場所：かながわ県民センター)
8月14日(日)13:00~15:00 602号室
8月度情報提供者：下条
「アイドリングストップについて」
9月11日(日)13:00~15:00 603号室
10月23日(日)13:00~15:00 708号室
2. 行事
8月6日(土)及び8月20日(土)
夏休み親子体験教室：環境科学センター

自然環境部会

部会長 近藤 作司

部会活動(6月~7月)

6月4日、部会担当役員安丸代表の呼びかけで昨年度自然環境部会に何らかのかかわりを持っていた会員が集まり、部会の再発足を協議した。(残念ながら昨年10月に入会表明していた5名の方は、その後多忙等の理由により会議を催すことが出来なかった。)

協議の結果、近藤が部会長となり、早急に行事開催することを決めた。取敢えず7月20日(水)に自然観察会の開催を企画し、会報発表の機会が無いためk-leader メーリングリストにより参加を呼びかけることにした。

7月20日(水)9:30~13:00

県立座間谷戸山公園 参加者8名

9時30分小田急線座間駅集合、先ず坂東8番妙法山星谷寺を訪ね「水琴窟」などを楽しんだ。寺から約50m、小田急の踏切を渡って直ぐに公園の森に入る。ここは極相林(放っておくと自然遷移により特定の樹種の森となる)と言われるシラカシ観察林。姿は見えないが驚のきれいな鳴き声を聞き、里山の植生や「マヤ(摩耶)蘭」を觀賞。野鳥観察ウォー

ルや観察小屋など随所にあるが、残念ながら野鳥の特定はほとんど出来なかった。

「わき水の谷」の水生植物、「スギ・ヒノキ観察林」のオオタカの巣跡、石垣を這えざる「筍(コウガイ)蛭」、葉っぱの真ん中に花(実)がついている「ハナイカダ」などなど楽しい観察が出来た。特に前部会長の岩田氏の該博な解説は一層観察を深めさせてくれた。

今後の活動予定

9月に横浜市栄区の「金沢自然公園」を訪ねる予定(担当 高橋尚道氏)



大気環境部会

部会長 猪股 満智子

雨中の大気(6月度NO2)測定
大勢の参加協力ありがとうございました!

活動報告(6~7月)

6月2日(木)夕~3日(金)夕の24時間測定の翌日が環境展ということで、環境展に参加しがてらサンプラー(捕集管)を持参、分析体験もして頂くといった、とてもよい機会に恵まれ、約370本という今ま

でにないサンプリング数となりました(有効測定地点数は若干減の見込み)。また個人の参加に加え、神奈川区の環境問題を考える会、厚木市環境市民の会などの団体参加も得て、マップの調査地点が拡大、点在し、ようやく地域の偏りを少しは解消できたようです。12月度(1日夕~2日夕)の測定にはまた新たな地点が加わるよう会員の皆様のご協力に期待いたします。測定マップのパネル化、ホームページ化は是非ばらくお待ち願います。

教育研究所も動いた!

もう一つ新しい動きをご紹介します。内藤部会員

と元部会員教師による測定と根強い働きかけが実り、座間市教育研究所が動きました。5月の捕集管準備と6月10日分析時に座間市教育研究所が当部会採用の地図入力ソフトを入手・インストールしたパソコンを持参し、測定分析体験。8月には環境科学センターまでマイクロバスを仕立てて市内小中学校教師の集団研修を行うということです。

6月30日(木)13:30~17:00
NPOセンター大船
現行地図ソフト入力講習会
講師：佐伯秀夫氏
参加10名

7月5日(火)13:30~17:00
KERC 実習室
新ソフトMANDARA入力講習会
講師：岡、野崎情報交流部研究員
参加9名

部会「如何に活用・分担するか」の検討
7月19日(火)13~16:30 KERC 実習室/戸外
「夏休み子ども環境体験教室」準備、練習
7月21日(木)13~16:00 上記の本番

活動予定(8~9月)

8月27日(土)11~17:00
鎌倉市御成小体育館・戸外
主催 社団法人 鎌倉青年会議所
「かまくら環境フェスタ2005」に出展参加

9月8日(木)13:30~16:30
NPOセンター大船
定例部会「マッピング、その他」
9月23日(金)10:00~17:00
「横浜カーフリーディ」に出展
10月1日(土)13~16:30
藤沢駅界限予定
学習交流会「大気汚染と地球温暖化」
講師：環境保全部専門研究員 相原敬次

自然系モニタリングにご参加ください!

ツバメ(調査時期5月~7月末) 提出 9月末
ツバメの姿を見た (飛翔、留まったり)
巣にツバメを見た (巣の数を記す)
住所か地域明細地図等に見つけた場所と数
記入。最近は越冬ツバメや、2回の繁殖も見
られるようになっていきます。
提出先: KERC 環境学習担当宛か猪股迄

ジョロウグモ(調査時期9月~11月末日)
ジョロウグモを見つけた場所に x
特徴; 馬蹄形、三層構造の網 12月上旬

お手にとってみませんか 部会員が懐古本出版
「自然から学ぶ」自然観察随筆集
花上友彦 著
市民かわらばん社 1500円

廃棄物 GO3 部会

部会長 原 園 信夫

活動報告(6~7月)

7月3日 子供環境教室の準備を兼ねて、環境化学センターでソーラーつくりと時間割を確認しました。また環境マーク、テキストについて勉強会を行いました。
7月31日 子供環境教室「ソーラークッカーを作

ろう」で例年通り、「ソーラークッカーを作る、3Rを勉強する、マークを勉強する」の内容で実施します。

活動予定(8~10月)

8月27日 鎌倉環境フェスタで、資源の流れと、環境ラベルを展示する予定。
8月28日 子供環境教室「ソーラークッカーを作ろう」の2教室目を実施。
9月にごみ問題について、部会として意見交換会

グリーン部会

部会長 杉山 陽絵

活動報告(6~7月)

6月4日 親子環境展出展
クイズとおつかいゲームを実施
7月2日 ミーティング(ひらつか市民活動センター)14:30~
・親子環境展のふりかえり
・改善点や今後の活動について話し合い
・8月27日かまくら環境フェスタに向けて、紙芝居を作成する事が決定

7月23日 ミーティング(ひらつか市民活動センター)14:30~
・紙芝居シナリオ案の検討

活動予定(8~10月)

8月25日 14:30~ 平塚市民活動センター
・紙芝居のリハーサル
8月27日 かまくら環境フェスタ
9月以降の活動日程は未定

<部員の募集>

グリーン部会の活動をもっと広げるために部員を大募集しています。

「グリーン購入のことが良く分からない」という方も、大歓迎。楽しく活動しながら、みんなで勉強していきたいと思っています。

現在、子供向け紙芝居を作成中です。イラストを描くのが得意な方、文章(台本)を書くのが好きな方、役になりきって芝居をしたい方、人と話をするのが

好きな方、子どもと接するのが好きな方、是非私たちの活動に力をお貸しください。

とりあえず見学だけ、という方も大歓迎です。

ミーティングへの参加を希望される方は、杉山までお問い合わせください。

会員の広場

国立環境研究所 公開シンポジウム 2005 報告

原原 信夫(平塚市)

「地球と暮らしの環境学/あなたが知りたいこと、私たちがお伝えしたいこと」というサブタイトルで、国立環境研究所公開シンポジウム 2005 が去る 6 月 12 日東京メルパルクホールで開催されました。

例年平日に開催されていましたが、今年は日曜日開催され、若い人からお年寄りまで会場は満員でした。環境学習リーダー会の方々も多数参加していました。

ポスターセッションと講演 4 題。

1. 温暖化が招く気候の変化とその影響(江守正多氏)

気温上昇量の予測には幅がある(2 ~ 5)ものの、温暖化により気候がどのように変化しそうであるかということは、かなり詳しくわかってきた。日本についていえば、昨年の猛暑や豪雨が温暖化のせいであると結論するのは早計だが、温暖化が進めば、昨年とは比べ物にならないような猛暑や豪雨の増加がもたらされると考えられる。真夏日は今より数十日も増える可能性があり、熱中症患者の増大や、マラリヤ等の感染症に感染する危険性が増加する。このような深刻な温暖化の影響を食い止めるためには、排出量を何割も削減しなければならない。

2. 温暖化を防ぐ社会のあり方~脱温暖化社会に向けた 3 つの取り組み~(藤野純一氏)

日本国内の 2003 年度温室効果ガスの排出量は 1990 年から 8%(削減目標から 14%)増加、特にオフィスビル等 + 36.9%、家庭 + 28.9% 伸びている。2100 年以降 CO₂ 濃度 500ppm 以下(現在 360ppm)にするためには、温室効果ガスの排出量を 1990 年比 5 分の 1 まで削減しなければならない。

脱温暖化社会にするにはどのように取り組むべきか?

新たな制度を設計する。温暖化対策税の新設、米中など世界中が削減に努力する制度。技術の開発普及。燃料電池自動車や電気自動車

を例とする CO₂ を排出しないで豊かさを保つ技術の開発。

われわれの行動。個人がこまめに電気を消す、より温室効果ガスを排出しない生活機器を購入すること、物をあまり消費しなくても人間の欲求を満たす生活に変える。

こつこつと 2050 年という目標に向かってさまざまな取り組みを行うことしかない。

3. 循環型社会に向けた「技術」と「ライフスタイル」~5 つの問いかけ~(大迫政浩氏)

ゴミの発生量は「豊かさ」のバロメーター

生活が豊かになるとその生活を維持するためにいっそう多くのモノが消費され、たくさんの「ごみ」が生み出される。年間ゴミ排出量と国内総生産(GDP)は相関関係がある。本当の豊かさを考えるべきときにきている。

ゴミの処理やリサイクルにどれだけお金をかけられる?

一般廃棄物(5 千万 t)の処理に一人年間約 2 万円かかっている。産業廃棄物は 8 倍(4 億 t)あり、この処理費用は製品価格に含まれる。このコストをどのように理解し、どのように対応していけば良いのだろうか?

日本のゴミ処理を世界から見たら!

世界でダントツに焼却施設が多く焼却量も世界一。

「安全」のコストと「安心」のコスト

可燃ごみをダイオキシン対策として 1200 以上で高温溶融し、スラグにする。相当のコストやエネルギーがかかる。その 50%は埋立処分される。いつまで無尽蔵に「安心」のためのコストを支払っていけるのだろうか?

環境にやさしいリサイクルって?

リサイクル困難なプラスチックは焼却したら? リサイクルできるからといって便利なものを安易に消費する「大量消費・大量リサイクル」のライフスタイルを見直すべき。

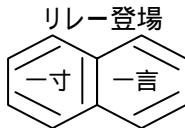
4. 化学物質の安全性はどこまでわかっているか(白石寛明氏)

リスク = 有害性(ハザード)評価 × 暴露評価
普段使っている塩でさえ限度を超えて摂取し続けると体に害を与える。

化学物質は量に応じて有益であったり、有害であったりする性質がある。

私の合言葉

小澤 茂（横須賀市）



30年位前、ある企業に勤務しておりました時に、「ほうれんそう」という合言葉を使って仕事をした結果、社内の意思疎通が良くなったという会社の話を読みまして、これは、イイナということで、早速、拝借。約2年位、使っておりましたが、これだけでは、足りないということが分かりこれに、「かくしん」を加えました。

ほう	報告	すぐ、報告。特に、悪いことは
れん	連絡	ちょっと、連絡。大事ですね
そう	相談	関係の人とは、相談が必要
かく	確認	だろうではなく、必ず、確認
しん	心・信	思いやり、信頼関係が重要

THINKのしんもあります。

社員や部門の数が多くなってくると、どうしても、意思の疎通が悪くなりがちです。仕事は、人が行うもの、お互いのコミュニケーションが大切なのは言うまでもありませんが、相互理解や信頼関係も必要です。

また、確認ということが、非常に、重要です。大きな事故も、ちょっとしたことの確認を怠ったことが原

因と言われる場合が多いですね。

私は、毎日、3時頃を確認の時間とするよう徹底しまして、効果をあげました。さらに、部下からは、「ほうれんそうかくしん」で連絡しますとか、気楽に言ってくれるようになりました。

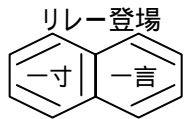
ある新聞記者に、「ほうれんそうかくしん」のことをお話したところ、すばらしいということで大きく新聞に掲載されまして、これを読まれた読者から、使わせてほしいとのお電話を多数いただき、本当に、嬉しかった思い出があります。

この「ほうれんそうかくしん」は、仕事の基本ということで作り実行してきまして、自分ながら、三重丸の「合言葉」と思っておりますが、数年前からは、仕事を含めて、人生を上手に楽しく過ごす処世術の一つではないかなと考えるようになりました。最近では、いろんな方にお話をしております。参考にしていただければ幸いです。有り難うございました。

つぎのランナーは、下條泰生さん（鎌倉市）にお願い申し上げます。

情報を読む努力

安藤 紘史（逗子市）



サラリーマンをめたく卒業して、初めて受けた環境講座で、こんな設問に出合った。

「ある面に光が当たり、そこに丸く黒い影が写っている。その影の元となっている物体はどのような形をしているか出来るだけ沢山考えよ」

皆さんはどんな形を想像しますか？

<ここで、1分ほど考えてみてください。>

.....

色々な形が思いつかれた事と思います。

当日も沢山出ました。円盤、球、円柱、円錐、斜めに置かれた楕円、鼓、麦藁帽子、・・棒が高速で回転している、凹レンズの屈折・・

講師は、これを出題した理由について、「環境問題は、沢山の切り口があり、更に色々な立場の人が、色々な目的で情報を発信している。情報に触れた時に、その背景も含めて解釈せよ」との話があり、印象に残った。

その後、幾つかのグループに入れていただいたり、マスコミの情報に触れる中で、先ほどの話にぶつかる事が度々ありました。

例えば、里山保全と称して、自然より人間にとって快適な公園づくりに邁進する人や、EM菌販売が本音の人まで。

風力発電推進がゆえに環境への影響を無視する人、浪費生活を維持する為に水素エネルギーを実態以上に美化する学者、既存の特別会計を守る為に環境税を意図的に叩く勢力。

元氣な議論だけに終始して何ら行動を起こさないグループ。自社の環境実績の一側面だけを力説する経営者等々。

その背景を考えながら情報を読む必要性を感じています。

しかし、駆け出しの私にどうやったらその力を付ける事ができるのか。悩ましい問題ですが、まずは次の事を心掛けたいと思っています。

議論だけでなく、出来るだけ現場で具体的活動に参加する。

色々な切り口の環境団体に参加させて頂く。

人間は自然の中で生かしてもらっている生き物の立場を忘れない。

「持続可能な発展」は経済の持続可能ではなく、環境の持続可能生である事を肝に銘じる。

行動が少なく批判が多い発言にはフィルターをかけて聞く。・・等々。

まずは、少しでも具体的な活動注力したいと考えております。今後とも宜しく御願います。

今回はエネルギー部会の小田さんをお願いしました。

丹沢山塊の自然を考える会

丹沢山塊の自然を考える会

会長 鈴木 盛彦(賛助会員)

「丹沢山塊の自然を考える会」は、【自然の大切さを考え、丹沢山塊において、自然が自然現象や人の手により急激に破壊されつつある現状を広く紹介すると共に、広い視野に基づく自然保護の活動】を目的として平成 11 年 9 月に設立した会です。

ご家族で(お子さまにも)ご入会いただき、平成 17 年 7 月現在、おかげさまで 85 世帯、125 名を越える会員数となりました。

丹沢山塊は神奈川県北西部に位置し神奈川県の屋根と言われ、東西 50km、南北 30km の面積を有しています。

丹沢山塊を流れる川には、相模川、金目川、酒匂川の三つの水系があります。このような水系をもっている、東京、川崎、横浜の三大都市の裏庭ともいえる丹沢山塊は、人、車、コンクリートの世界からわずか数十キロしか離れていないにもかかわらず、深山幽谷の静寂な雰囲気にも包まれています。その丹沢山塊が、神奈川県がすでに推し進めている「山なみ五湖ネットワーク林道・道路網整備事業」並びに平成 9 年 4 月 1 日からスタートした「かながわ新総合計画 21」の中の、「森林づくりを支える基盤の整備」、「水源地域総合保全整備構想」、「21 世紀森のダムづくり」の計画の名の基に、大規模な自然破壊に晒されています。

私達が住んでいる平塚市は、三大水系のうちの相模川と金目川(花水川)という丹沢に源流を發する二つの大きな川に挟まれ、丹沢山塊と相模湾の恩恵を得た冬は温暖で、夏は爽やかな気候に恵まれ、隣接する大磯町や茅ヶ崎市とともに明治時代からの別荘地としても発展し、まさに「湘南」の名にふさわしい場所に位置しています。この恵まれた環境に気がつかずに漫然と生活している私達は、このすばらしい自然環境を十分に認識する必要があり、今後は「これ以上、自然を破壊することがないように」目を向けていかなければならないと考えております。そこで私達は、自然とのふれあいを通じてその中で生きている人々の暮らしと生き方を捉え、丹沢山塊の自然の

豊かさ、恩恵を共有することは、自然を破壊しないための再認識をする絶好の機会と考えております。

そこで、平成 17 年 4 月 14 日(木)~19 日(火)には「ひらつか市民プラザ」において丹沢を憂える『丹沢山塊の自然を考える会 第 3 回 写真展』を開催いたしました。今回は丹沢山塊を 東丹沢 表丹沢 西丹沢の東部 西丹沢の西部 北丹沢 道志山塊の六地域に分けて丹沢山塊の現状、並びに丹沢山塊の自然破壊と災害の経時的变化や会の活動「山歩き会」「花水川ウォーク」「里山体験」「森林ボランティア」等を皆様に紹介させていただきました。

最近の丹沢山塊における自然破壊の最たるもの、林道建設、林道の状態についてお知らせします。

平成 17 年 5 月 15 日に行った山行では、東京神奈川森林管理所管内のバラシマ林道の道床崩壊、切通沢橋から切通峠までの間の林道は斜面からの落石が多数目撃され、5 月 29 日には大野山のイヌクビリから八丁へ延びている八丁神縄林道が、新秦野線 24 号・25 号鉄塔間で北ノ沢の源流部へと工事中なのが遠望された。イヌクビリより派生している熊山林道は平成 14 年 11 月 5 日より行われていた「林道構造改善事業・林道熊山線改良工事」はすでに終了し、林道終点の北方にある秦野峠林道工事を南側から行う伐採予定の針葉樹にテープが巻かれ、通過場所の斜面の上限と下限には針葉樹に巻かれた白いビニールテープが長々と延びているのが見えました。シダング山の西方を通る秦野峠林道、林道より分派している虫沢林道北工区の林道は平成 17 年 3 月末にはダルマ沢に「タカノス橋」が完成し林道がさらに南方へ延びようとしています。また、数年間工事を行っていなかったと思われる虫沢林道南工区も北工区へドッキングすべく工事を再開しようとする雰囲気を感じられます。

本会は今後も各種活動をより一層強め、皆様と一緒に「自然を」考えていきたいと考えております。どうぞ皆様のご指導、ご協力をよろしく願います。(平成 17 年 7 月 12 日 記)

【丹沢山塊の自然を考える会】

事務局、連絡先：



伐採予定の針葉樹に白いテープ



バラシマ林道の道床崩壊

〒254-0084
神奈川県平塚市南豊田 21 番地
(鈴木外科内科医院内)

TEL 0463-31-1543
FAX 0463-31-9904

平成17年度 環境カウンセラー 募集始まる

平成17年度の「環境カウンセラー募集」が始まりました。例年の通り、応募者に対する事前説明会を開催致します。

日時：8月19日(金) 13:00～15:00

場所：ひらつか市民活動センター 2階会議室
(平塚駅南口から海岸方面に向かって右側にあるJAビルかながわの2階)

講師：安丸 元一、下條 泰生

事前説明会へ参加される方は、資料を用意する都合上、下記まで連絡をお願いします。

説明会実施者 安丸 元一

TEL & FAX 0467-86-3871

E-mail: genichi-1@nifty.com

なお、募集要項は、下記より入手の上、事前に一読しておくよう御願ひ致します。

申込者が少ない場合は、事前説明会を中止する場合があります。

独自にチャレンジされる方は下記から募集要項を入手しチャレンジ願ひます。

財団法人 日本環境協会

<http://www.jeas.or.jp/>

〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9
プライム神谷町ビル2F
TEL.03-5114-1251
FAX.03-5114-1250

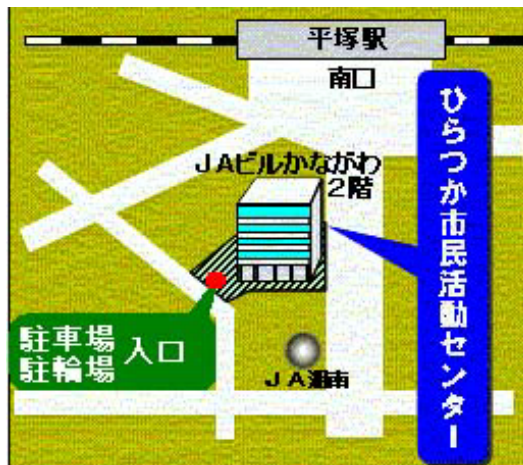
郵便の場合

募集要綱を希望する場合は、返信用封筒(角2・A4サイズが入る大きさ)に200円分の切手を貼り、送付先住所・氏名を明記し、日本環境協会までお送り下さい。

募集要綱をダウンロードする場合

<http://www.env.go.jp/policy/counsel/files/yoko.pdf>
申請受付期間(募集期間)

平成16年9月1日(木)～9月30日(金)



掲示板

会のパンフレットを改訂しました

広報部

会の組織変更に伴い、パンフレットを改訂いたしました。

これから多くのイベントが行われますが、そのような時に大いに活用してください。新しいパンフレットを必要な方は、事務局長へ連絡してください。

1. 環境活動の記述変更
2. 活動事例・講師派遣項目追加
3. 会員資格の表現見直し
4. 組織変更に伴う変更
5. K-リーダー会へのお問合せ先変更

【事務局長連絡先】

電話/ファックス：045-584-7907(大森)

編集後記

関東地方直撃の前触れが大きただけに大きな被害もなく、やや肩透かしといった気配さえも感ずる台風7号が去って真夏の日差しがきつい。

でも、温暖化は困るが、夏は夏らしく暑いが良い。

本号で紹介されている「ほうれんそうかくしん」は、従来言われていた「ほうれん・そう」に「かくしん」が加わり重みが増した気がする。

会社の仕事の基本の合言葉だけでなく、当会のような団体でも全く同じに使えるものであり、特に「しん」(思いやり、信頼関係)は、楽しく、永く続けていく為に必要な事と思います。

これからも、リレー登場では、色々な方の経験、お考えが伺えると楽しみにしている愛読者の1人です。

広報部 黒澤 宏

発行人：神奈川県環境学習リーダー会

代表 安丸 元一

編集人： 広報部長 黒澤 宏

TEL/FAX 0463-88-5193

発行日： 2005年7月31日